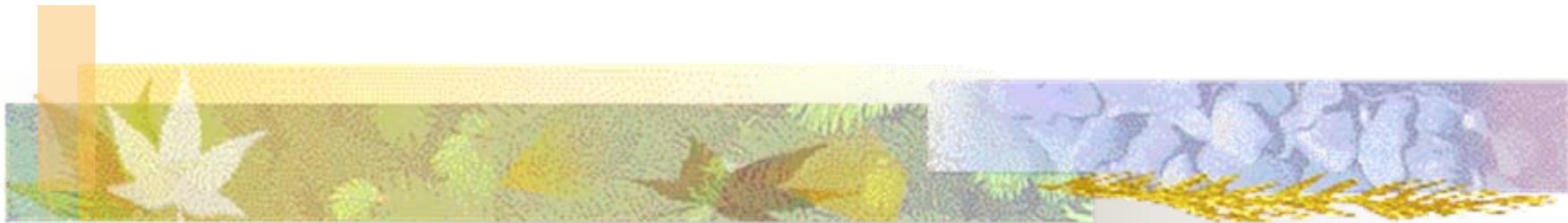


新医師臨床研修制度



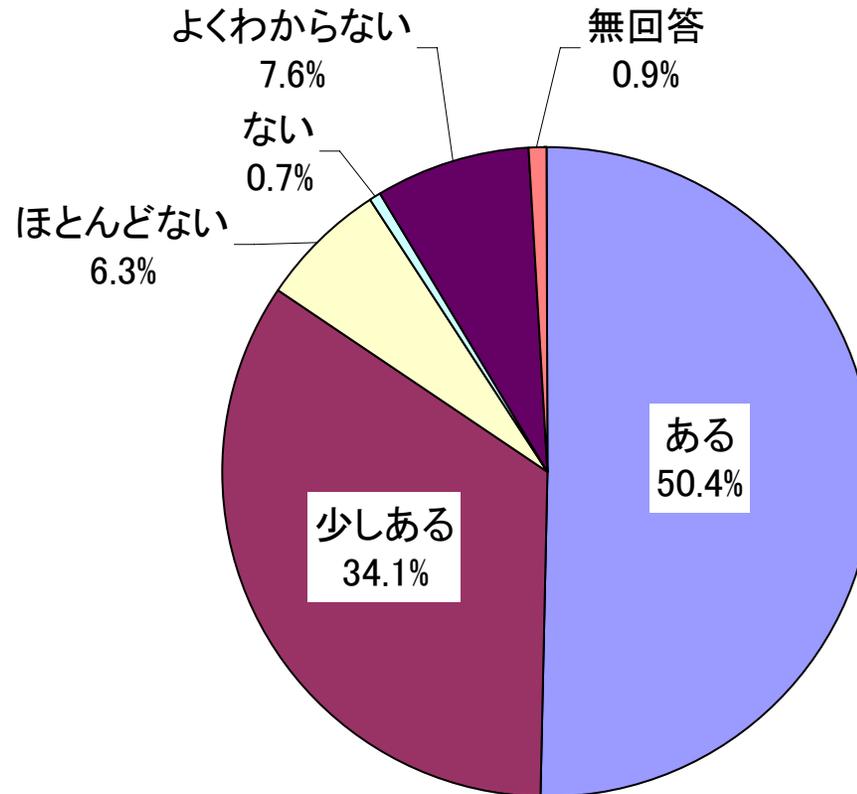
厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室
宇都宮 啓

平成16年10月4日



1. なぜ臨床研修必修化なのか？

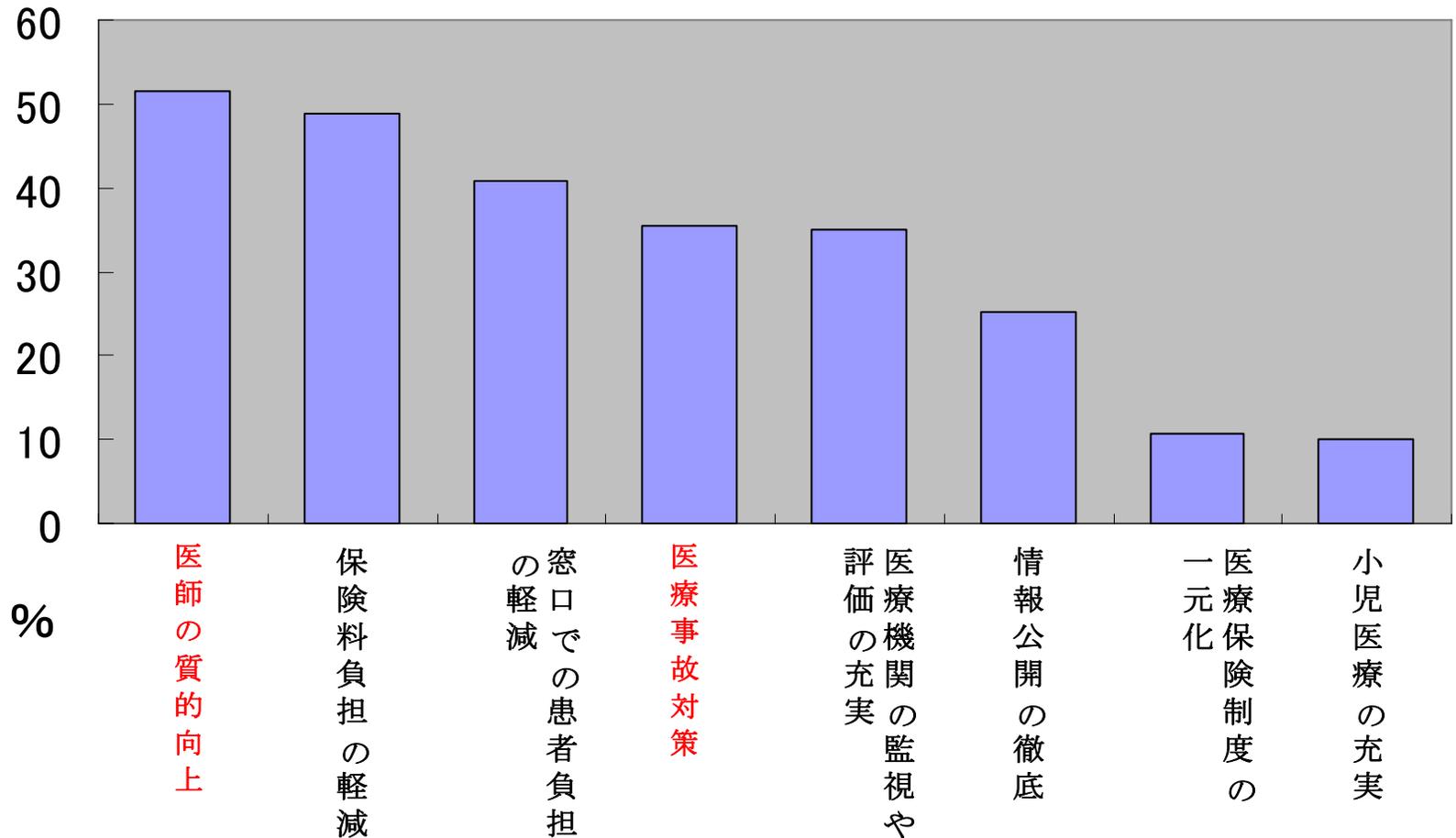
医療制度改革論議に関心があるか



出典:「医療再生」(日本経済新聞社 編)

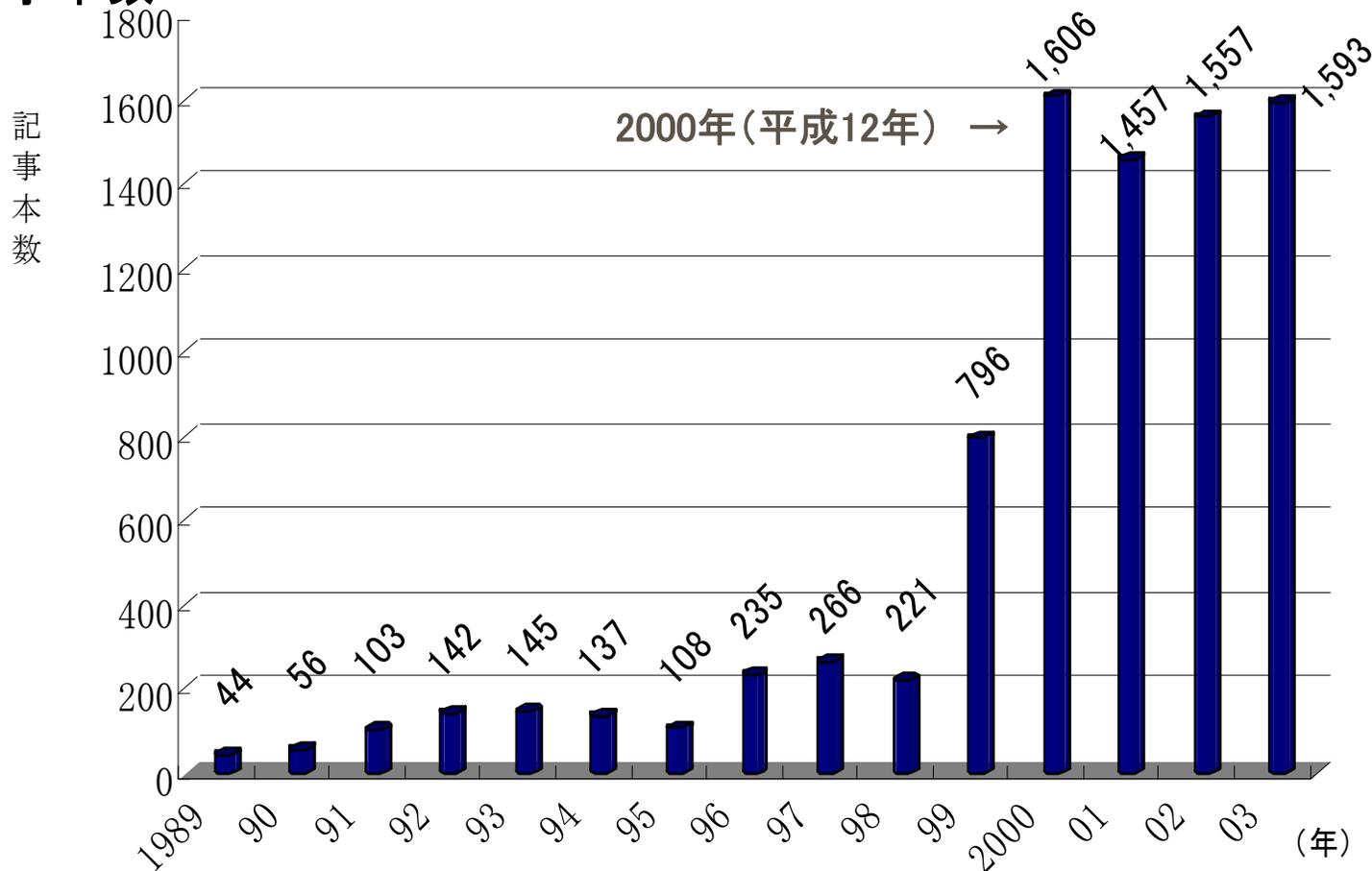
医療制度改革に何を求めるか

(3つまで選択)



出典:「医療再生」(日本経済新聞社 編)

全国紙5紙(朝日、読売、毎日、産経、日経)にみる医療過誤(ミス)をテーマにした記事本数



注1) 日経テレコン21(日本経済新聞社)による記事検索で、「医療過誤」「医療ミス」を題材(見出し、本文、キーワード、分類語)にした記事本数(ダブリりは除外)をカウントした。隔年に実際に起きた過誤(ミス)を調べたものではない。

注2) メディカル朝日 平成16年3月号より引用

注3) 記事本数=過誤+ミス-重複



旧制度の医師臨床研修の問題点

1. 研修は努力義務
2. 研修プログラムが不明確
3. 専門医志向のストレート研修中心
4. 施設間格差が著しい
5. 指導体制が不十分
6. 研修成果の評価が不十分
7. 身分・処遇が不安定 → アルバイト
8. 研修医が都市部の大病院に集中

医師臨床研修実施者の状況

(平成13年度)

研修対象者数(全医学部卒業生)

15,439人(100%)

研修非実施者数

1,938人(12.6%)

研修実施者数

13,501人(87.4%)

大学病院

9,619人(62.2%)

臨床研修病院

3,882人(25.2%)

医師の需要と供給における質的不均衡

1. 高齢化社会を迎えて、複数疾患を抱えた患者の増加、生活習慣病の増加
 - 全人的・診療科横断的医療、予防医学の必要性
(需要)
2. 医学の進歩による医療の高度化、専門化、細分化
 - ストレート研修による高度専門医療を志向したいわゆる専門医の増加
(供給)

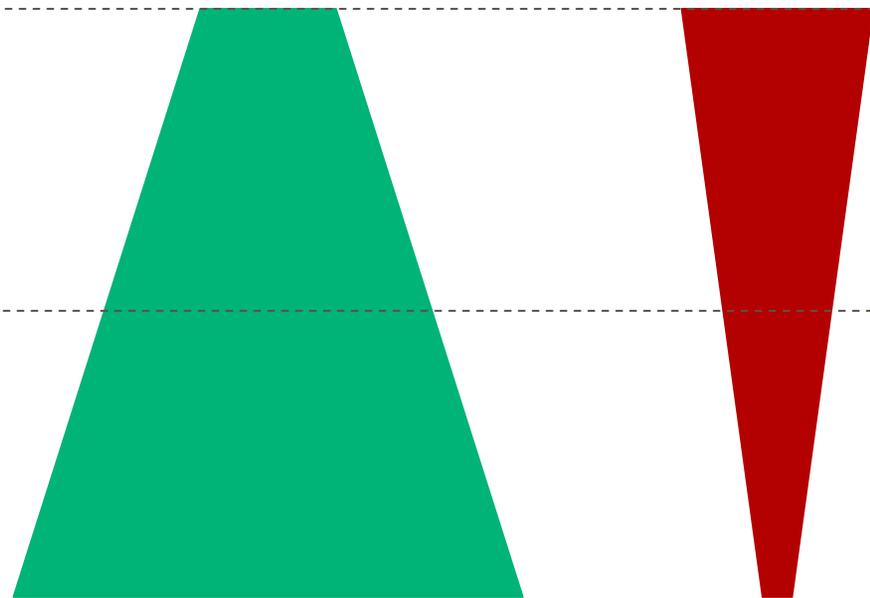
専門医のあるべき姿

“本当の”
専門医

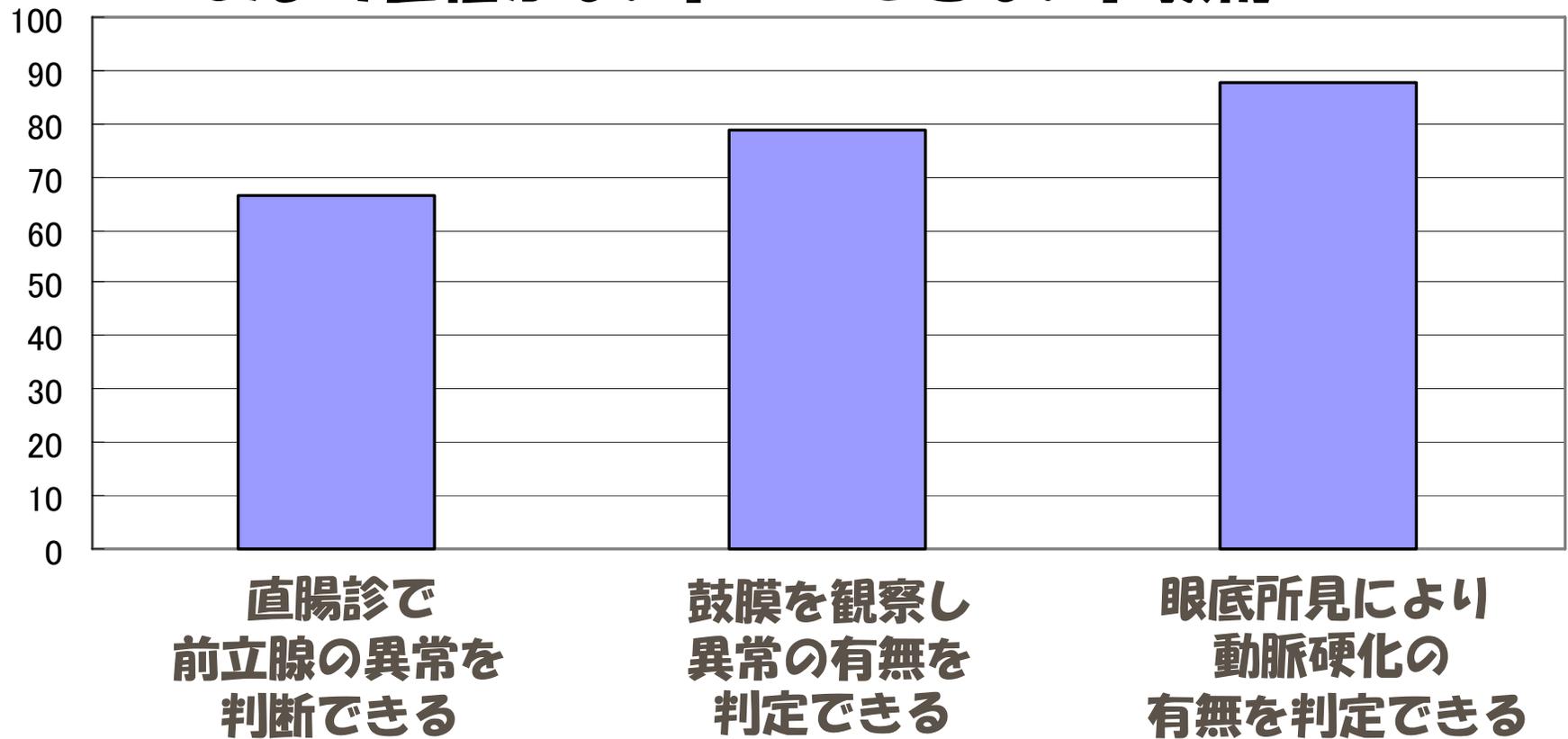
“いわゆる”
専門医

専門医としての
特定分野での臨床能力

一般医(GP)としての
基礎的臨床能力



2年の研修修了時において 「あまり自信がない」 or 「できない」技術



平成15年度厚生労働科学研究「医療関係職種の資質の向上(特に医師の卒後臨床研修及び国家試験の質の向上)」に関する研究(主任研究者 瀬上 清貴)より集計

医師法等の一部改正

(平成12年改正、平成16年4月施行)

1. 診療に従事しようとする医師は、2年以上臨床研修を受けなければならない
2. 臨床研修に専念しなければならない
3. 臨床研修修了を医籍に登録、修了登録証の交付
4. 臨床研修未修了者の診療所開設は知事の要許可
5. 病院・診療所の管理は臨床研修修了者に限定

第150回国会参議院国民福祉委員会附帯決議 (平成12年11月)

「医師及び歯科医師の臨床研修については、インフォームドコンセントなどの取組や人権教育を通じて**医療倫理の確立を図るとともに**、精神障害や感染症への理解を進め、更に**プライマリーケアやへき地医療**への理解を深めることなど全人的、総合的な制度へと充実すること。その際、臨床研修を効果的に進めるために指導体制の充実、研修医の**身分の安定及び労働条件の向上**に努めること。」



2. 新研修制度のプログラム



研修プログラム

1. 臨床研修の到達目標

プライマリ・ケアの基本的な診療能力を修得できるように設定

2. 研修期間：原則として2年間

【基本研修3科目】：原則として1年目

内科：6か月以上が望ましい

外科、救急部門（含麻酔科）：3ヶ月ずつが考えられる

【必修研修4科目】：原則として2年目

小児科、産婦人科、精神科、地域保健・医療：

少なくとも各1か月以上

3. 地域や施設の特徴を活かした研修プログラム

臨床研修の到達目標

I 行動目標

医療人として必要な基本姿勢・態度

- (1) 患者－医師関係、(2) チーム医療、(3) 問題対応能力、(4) 安全管理、(5) 症例呈示、(6) 医療の社会性

II 経験目標

A 経験すべき診察法・検査・手技

- (1) 医療面接、(2) 基本的な身体診察法、(3) 基本的な臨床検査、(4) 基本的手技、(5) 基本的治療法、(6) 医療記録、(7) 診療計画

B 経験すべき症状・病態・疾患

- 1. 頻度の高い症状(35項目。うち20項目は必修、レポート提出)
- 2. 緊急を要する症状・病態(17項目。うち11項目は必修)
- 3. 経験が求められる疾患・病態(88項目。うち70%以上の経験が望ましい)
 - (1) A疾患:入院症例レポートが必修: 10項目
 - (2) B疾患:外来、入院での経験が必修: 38項目
 - (3) 外科症例(手術を含む)1例以上の受け持ち→症例レポート

C 特定の医療現場の経験

- (1) 救急医療、(2) 予防医療、(3) 地域保健・医療、(4) 周産・小児・成育医療、(5) 精神保健・医療、(6) 緩和・終末期医療



健康の定義 (WHO)

- 健康とは、肉体的、精神的および社会的に完全によい状態にあることであり、単に疾病または虚弱でないということではない。

地域保健・医療研修の意義

(1) 全人的医療の修得

- 人＝肉体＋精神＋社会（家庭、地域、職場、学校等）
- 家庭訪問、往診、地域活動等を通じた、患者の社会的側面の学習

(2) 様々な保健・医療・福祉制度、患者支援組織・団体の学習

- 医療費公費負担（難病、精神通院等）
 - 介護保険、福祉制度、家族会等
-
- 患者の負担軽減
 - 患者の社会復帰支援

(3) 臨床医の届け出等の意義の学習

- 食中毒、感染症等 → 届け出に基づく対策
- 衛生統計（死亡、疾病等） → 地域での活用

(4) 予防医療の学習（地域保健、職域保健等）

- 健診、検診、予防接種、健康づくり活動、介護予防等

(5) 医療安全の学習

- 医療監視への立ち会い・・・監視する側から見た医療安全対策



3. 日本医師臨床研修 マッチングプログラム

通称「研修医マッチング」

初期臨床研修はどこで行なわれているか？

区 分	大学病院	臨床研修病院
旧制度 (平成13年度)	71.2%	28.8%
新制度1年目 (平成16年度)	55.9%	44.1%
新制度2年目 (平成17年度)	49.2%	50.8%

資料： 平成13年度「研修医の処遇に関する調査」(厚労省・文科省)
平成16年度厚労省医事課調べ(国試合格発表後)
平成17年度厚労省医事課調べ(国試合格発表後)

病床規模別 病院数・研修医数

【単独・管理型臨床研修病院】

(単位:施設、人)

区 分	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成17年度(2学年分)		
	病院数	(うち、研修医 が在籍する 病院数)	研修医数	病院数	(うち、研修医 が在籍する 病院数)	研修医数	病院数	(うち、研修 医が在籍す る病院数)	研修医数	病院数	(うち、研修 医が在籍す る病院数)	研修医数
～99床	0	(0)	0	2	(1)	2	2	(2)	4	2	(2)	6
100床～199床	0	(0)	0	42	(20)	46	55	(28)	66	55	(33)	111
200床～299床	18	(16)	60	122	(63)	143	141	(92)	233	141	(99)	380
300床～499床	238	(165)	735	408	(283)	1,076	436	(332)	1,346	436	(362)	2,424
500床～699床	163	(128)	819	183	(161)	1,180	189	(173)	1,335	189	(180)	2,538
700床～999床	56	(52)	531	58	(55)	699	58	(56)	692	58	(57)	1,391
1,000床～	10	(10)	92	12	(11)	116	12	(12)	148	12	(12)	275
計	485	(371)	2,237	827	(594)	3,262	893	(695)	3,824	893	(745)	7,125

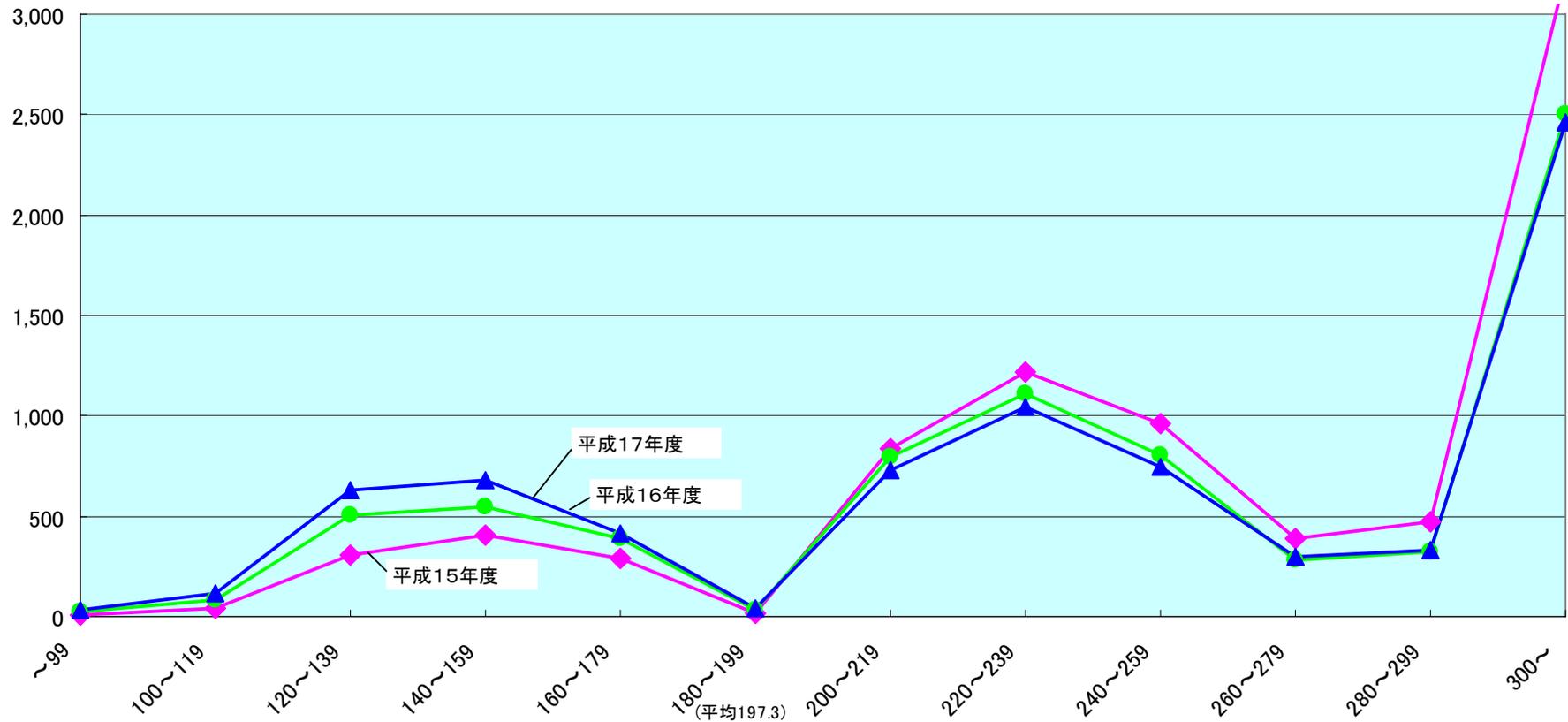
※研修医数については、厚生労働省医政局医事課調べの数字。

また、平成15年度の数字には、精神科単科研修を行う15病院を含まない。

都道府県	平成15年度 採用実績 ①	平成16年度 採用実績 ②	増 減 ②-①	平成17年度 採用実績 ③	増 減 ③-②	増 減 ③-①
北 海 道	288	328	40	319	△ 9	31
青 森 県	56	58	2	49	△ 9	△ 7
岩 手 県	38	58	20	65	7	27
山 形 県	56	42	△ 14	58	16	2
埼 玉 県	118	195	77	177	△ 18	59
東 京 都	1,707	1,313	△ 394	1,290	△ 23	△ 417
長 野 県	104	90	△ 14	112	22	8
京 都 府	411	268	△ 143	312	44	△ 99
大 阪 府	689	578	△ 111	588	10	△ 101
広 島 県	181	134	△ 47	143	9	△ 38
福 岡 県	546	432	△ 114	463	31	△ 83
長 崎 県	105	74	△ 31	103	29	△ 2
沖 縄 県	81	139	58	127	△ 12	46
全 国 合 計	8,166	7,392	△ 774	7,526	134	△ 640

研修医数
(人)

2次医療圏医療規模(人口10万対医師数)別 研修医在籍状況



※ 2次医療圏を人口10万人対医師数別(これを医療規模と見なした。)に分類し、それぞれの圏域における、単独型又は管理型臨床研修病院(平成15年度は一般病院、主病院)として指定を受けている臨床研修病院及び単独型又は管理型相当大学病院に在籍する研修医数を表した。

2次医療圏医療規模
人口10万対医師数(人)



4. 臨床研修医アンケート結果

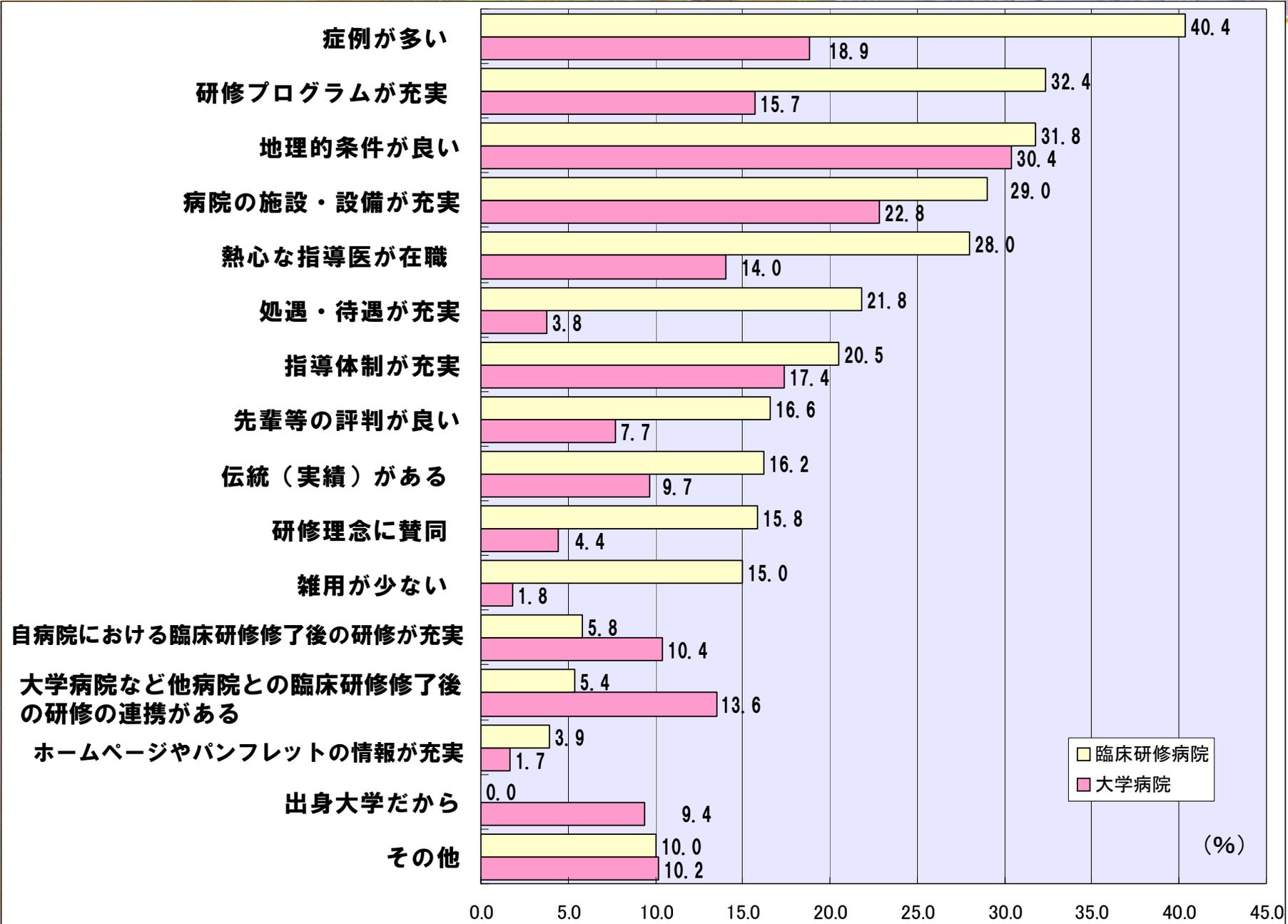
実施 : 平成17年3月

回答者数: 臨床研修病院 2, 039名

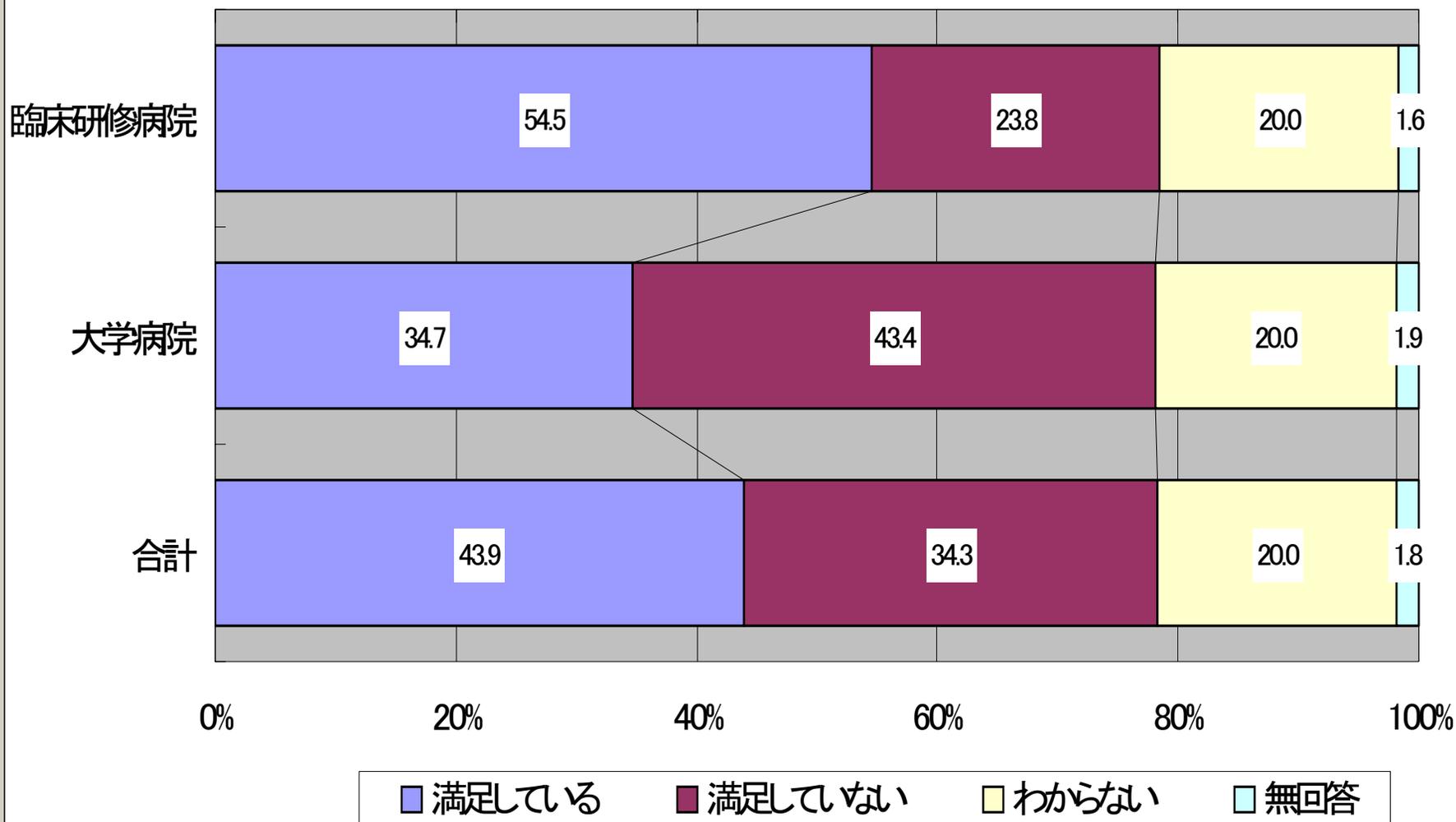
大学病院 2, 339名

回収率 : 59. 2%

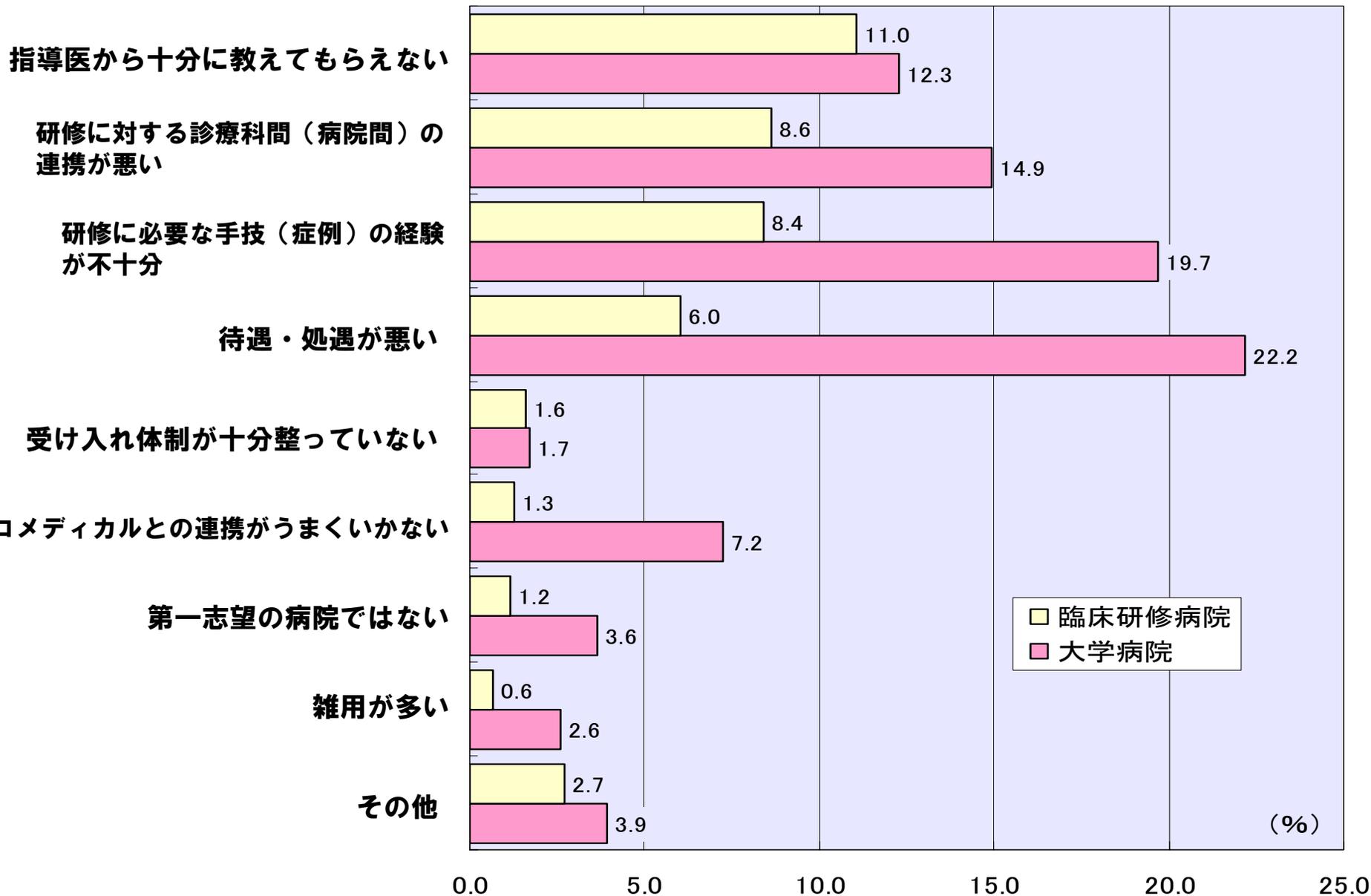
現在研修している臨床研修病院に応募した動機は何ですか。（複数回答）



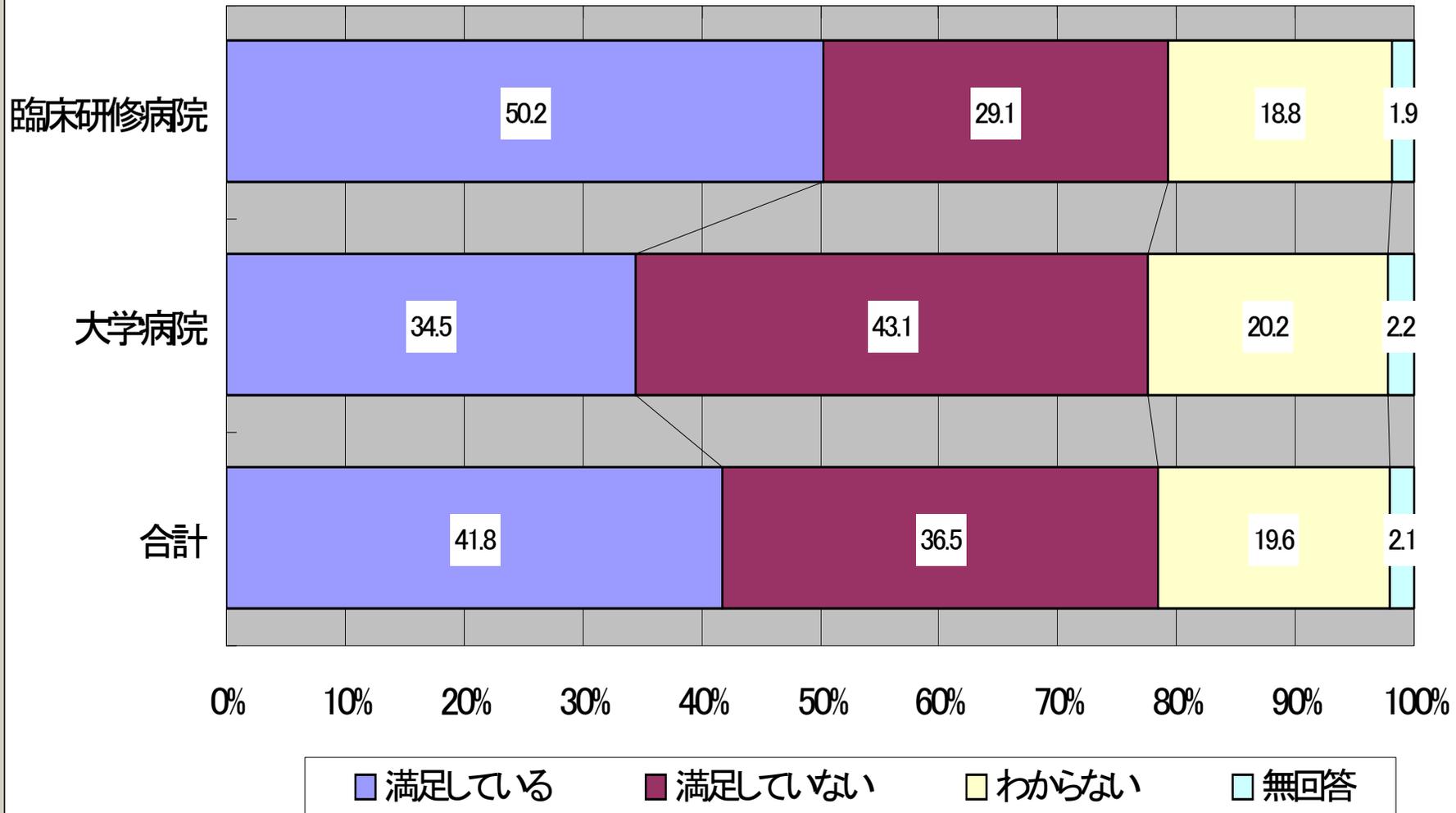
貴方が研修している病院の研修体制等に満足していますか。



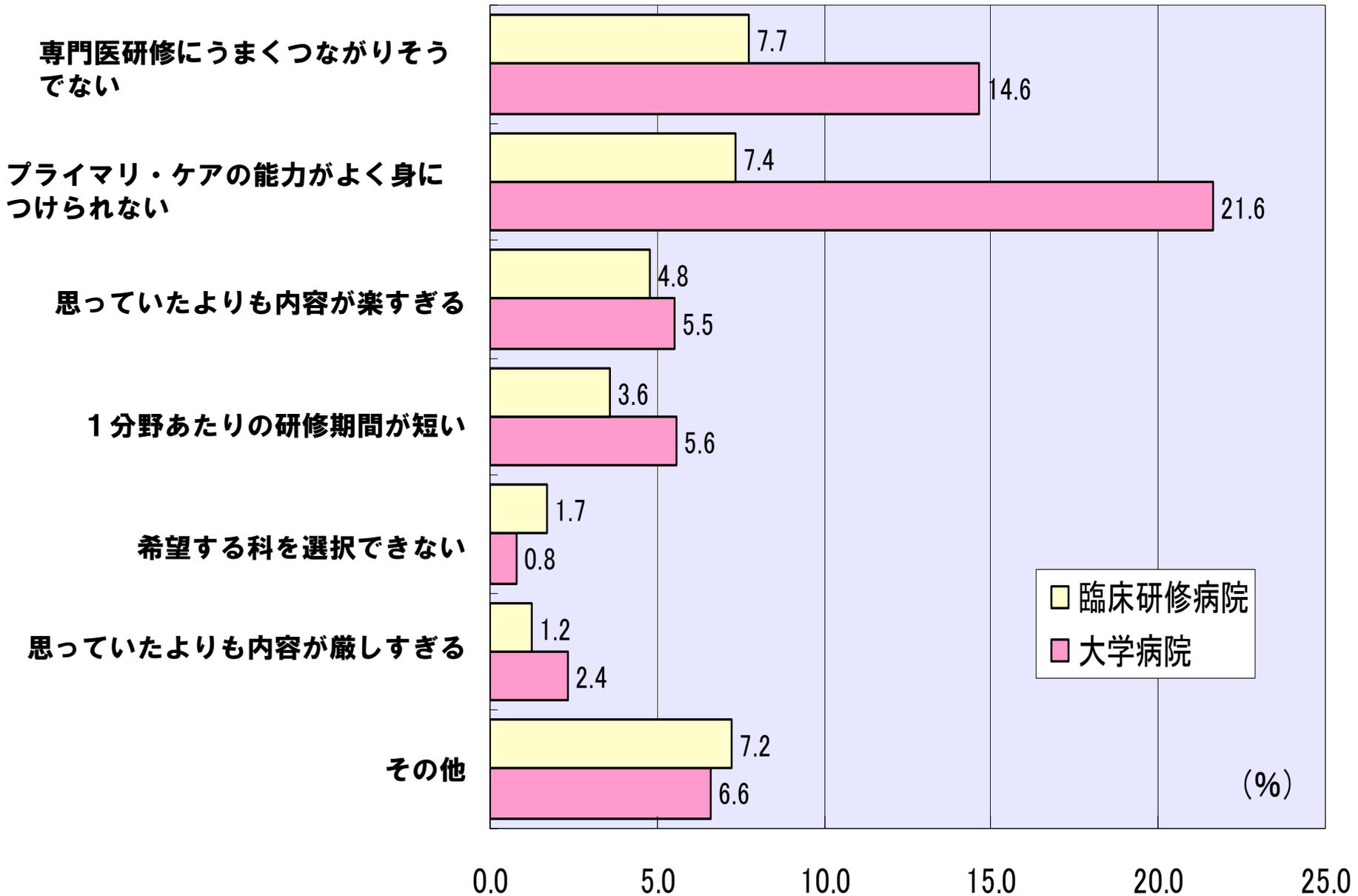
研修体制に満足していない理由（複数回答）



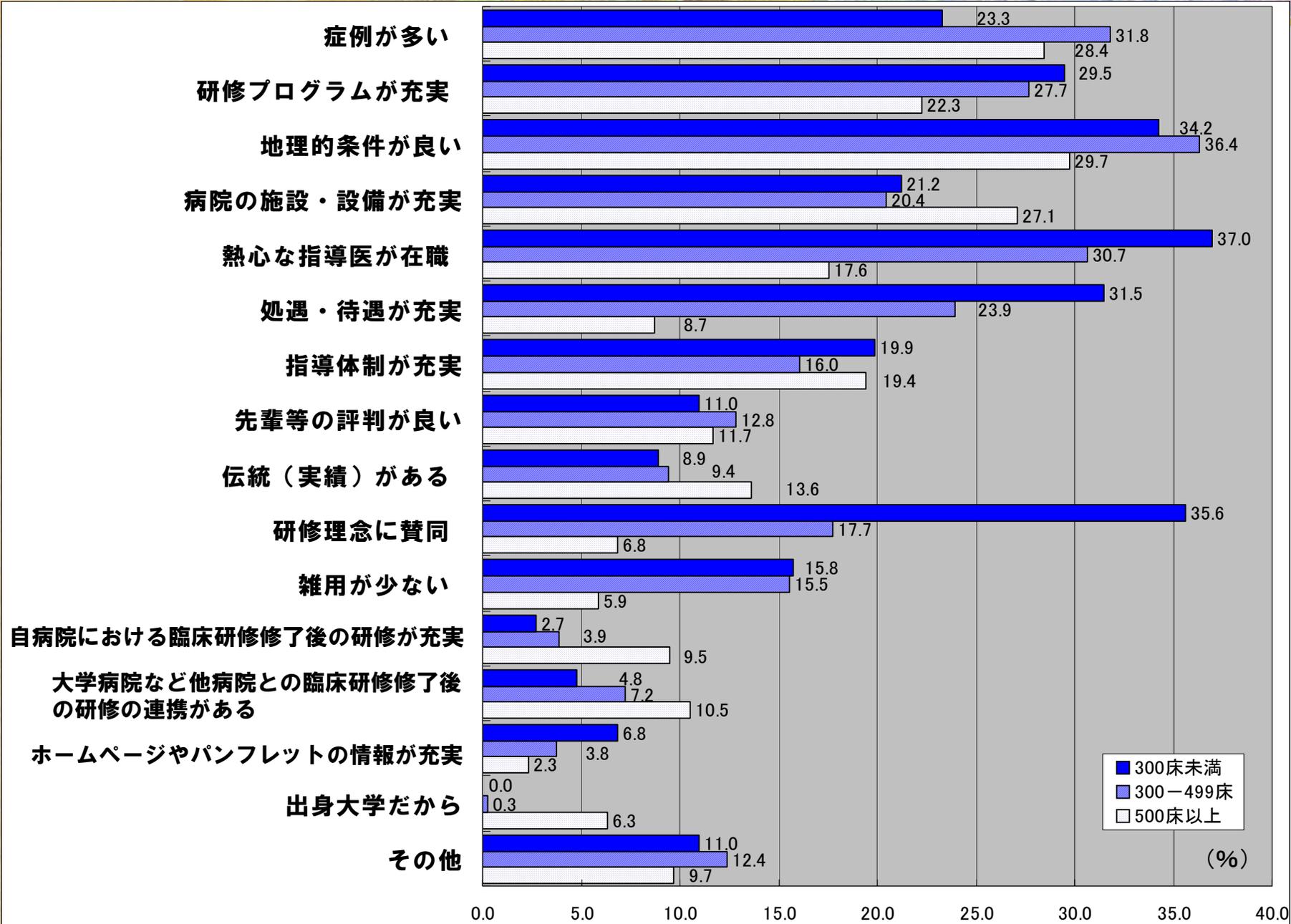
貴方が研修している病院のプログラムに満足していますか。



プログラムに満足していない理由（複数回答）



現在研修している臨床研修病院に応募した動機は何ですか。（複数回答）





私の時代の
進路選択のイメージ



自分の能力を伸ばせる
研修プログラムはどれか

博士号の意味は何か

医局とどう付き合うのか

どんな医師になりたいのか

**保健医療界全体で研修医を育て
るシステムです。
是非、皆様のご協力を！**

